

袋井「地域学講座」 優秀政策案を表彰

市と静岡理工科大

袋井市と静岡理工科大(同市豊沢)が連携して8月に実施した夏期集中講義「地域学講座」で、優秀な政策提案のあった学生グループの表彰式が、同大であった。

10回目の今年のテーマは「袋井の海といきる」を持



市長賞に輝いたEグループ(左側)と学長褒賞のAグループ(右側)の学生。袋井市豊沢の静岡理工科大で

続可能な環境づくり」。5グループ20人の学生が4日間の日程で、フィールドワークなどに取り組み、最終日に課題解決に向けた研究成果を発表した。最高の市長賞にはEグループの「DORIMARINパーク」、学長褒賞には「同笠海岸を盛り上げろ！」メロソングで安心・安全」が選ばれた。表彰式で大場規之市長、木村雅和学長からそれぞれ表彰された。

Eグループは、同笠海岸のごみ漂着と海岸浸食の問題に着目。海岸ごみの実態を周知するために、ごみ拾いイベントの開催が有効とした。海岸浸食では突堤や人工リーフの設置を提案した。

リーダーで、大学院1年の早馬由菜さん(22)は「同笠海岸の現状を目の当たりにして、メンバーと環境保全について真剣に考えた。ごみ拾いイベントは実現できたうれしい」と話した。(牧田幸夫)